

自立支援協議会における障害者計画についての意見聴取

◆自立支援協議会委員からの意見【抜粋】

No	テーマ	内容
1	精神障害者の地域移行・地域定着について	<p>・文京区は、事業所への補助などの対応やグループホームの整備数などがまだ不十分であり、地域の課題として捉えて取り組むべきである。</p> <p>・具体的な支援を進めていくためには、まず都外入院者へのアプローチを実施すべきである。どういう方がどれだけ入院しているかを知り、どのような支援が不足しているかを検討することが第一歩である。</p>
2	グループホームについて	計画事業 1-3-1「グループホームの拡充」の定員数と整備数はどのように見ればよいのか。
3	計画事業量の見込みについて	過去の伸び率を基準に見込みを算出するののも一つの方法であるが、過去の実績が伸び悩んでいる事業については、利用を進めるための対応策を検討し、別途見込みを立てる必要がある。
4	計画相談支援について	<p>計画事業 2-1-2「計画相談支援」について。</p> <p>・29年度の見込み量は、事業利用対象者のうち、どのくらいの達成率となっているのか。また、セルフプランとの比率はどの程度になっているのか。計画数を増やすための手立てはあるのか。</p> <p>・29年度の見込みは1423件となっているが、29年度の事業者数では作成しきれない件数である。件数を増やすためには事業所を増やすことが必要だが、それには行政の力が必要である。</p>
5	区内の就労者数について	<p>・計画事業 3-1-1「障害者就労支援の充実」における就労継続者数の25年度実績は、ハローワークで把握している数より少ないように感じるがいかがか。</p> <p>・区内全体の就労者数をハローワークが把握しているのであれば、資料に入れても良いのではないか。</p>
6	障害者・児の居場所について	計画事業 4-5-8「b-lab」は、障害者が行って実際に使えるのかどうか。
7	障害者に対する育児支援について	障害のある方が子育てをしている場合、何か育児支援を行っているのか。